

平成21年度 生涯学習部の取組方針結果報告

○(取組方針) 組織力の維持・向上

(取組結果及びその評価)

組織力の維持・向上を図るため必要な意見交換の場として、毎月1回課内会議を実施するとともに、各課において課内研修の実施に努めました。

(今後の方針)

今後とも毎月1回の課内会議を開催して行くとともに、各課において作成した業務概要書を更新し、一層の情報の共有化、意思の疎通を図っていきます。

○(取組方針) 進捗状況の把握

(取組結果及びその評価)

各課とのヒアリングを毎週行い、事業計画表に基づいて事業の執行管理を行うことにより、業務実態の把握及びチェック体制の確立に努めました。

(今後の方針)

今後とも各課ヒアリングを継続して行い、各課における個々の事務処理において、制度的不備や初歩的なミスを見逃すことのないよう、問題意識を持って対応するよう努めていきます。

○(取組方針) 市民からの信頼回復

(取組結果及びその評価)

窓口では誠実な対応に心掛けるとともに、担当者が不在で判らないという様な事がないよう、1事業2担当者制に取り組みました。

(今後の方針)

1事業2担当者制の確立に向けて、一層取り組んでいきます。

○(取組方針) 子どもが元気に育つまち

(取組結果及びその評価)

各課において子どもを対象とした事業を積極的に展開しました。

(今後の方針)

引き続き、子どもたちの豊かな心を育むための事業を展開していきます。

○(取組方針) 高齢社会への対応方針

(取組結果及びその評価)

各種講座等において高齢者の参加が増える中、高齢者にとって魅力ある講座の企画に努めるとともに、参加しやすい条件整備に取り組みました。

(今後の方針)

今後とも、継続して取り組んでいきます。

○(取組方針) (仮称)鎌倉美術館の整備

(取組結果及びその評価)

(仮称)鎌倉美術館に関しては、5月に「(仮称)鎌倉美術館諸室配置等整備計画」を策定し市民等に周知を図りましたが、本市の厳しい財政状況の中、事業内容を根本的に見直し、平成 22 年2月に「野村総合研究所跡地整備(鎌倉博物館・鎌倉美術館の整備)にかかる今後の基本方針」を策定し、広報かまくら、市のホームページに公表し周知を図るとともに、教育委員会、市議会総務・文教常任委員会に報告し了承を得ました。なお、教育委員会が収集する美術品については、7月と1月に鎌倉市教育委員会美術工芸作品収集選定委員会を開催し、適正な選定及び評価を行いました

(今後の方針)

鎌倉美術館は、「野村総合研究所跡地整備(鎌倉博物館・鎌倉美術館の整備)にかかる今後の基本方針」に基づき、市内の適地の検討、あるいは市内既存施設の活用の可能性について検討を行うとともに、美術館整備に先行して平成 24 年度を目途に収蔵庫の整備を行うものとします。

○(取組方針) 生涯学習にかかる支援体制の充実

(取組結果及びその評価)

平成 21 年度当初から、ホームページに「鎌倉生涯学習センター等利用率一覧」を掲載するなど、稼働率向上を図りました。

勤労者や青年に関心が高い講座として、世界の経済問題や軽体操などを土日に実施しました。

また、利用者サークルの活性化などによる利用率の向上を図るため、生涯学習センターフェスティバルの見直しなどを実施しています。生涯学習センターフェスティバルについては、市民と行政との協働運営体制を確立すべく、開催準備を進めています。

(今後の方針)

引き続き、生涯学習推進委員会との協働による魅力ある土日夜間講座の企画開催、ホームページ掲載内容の充実など種々の方策を通じて、所期の取組事項の達成に努めます。

○(取組方針) 学習センター施設の有機的な活用及び稼働率の向上

(取組結果及びその評価)

平成 21 年度当初から、ホームページに「鎌倉生涯学習センター等利用率一覧」を掲載するなど、稼働率向上を図りました。

勤労者や青年に関心が高い講座として、世界の経済問題や軽体操などを土日に実施しました。

また、利用者サークルの活性化などによる利用率の向上を図るため、生涯学習センターフェスティバルの見直しなどを実施しています。生涯学習センターフェスティバルについては、市民と行政との協働運営体制を確立すべく、開催準備を進めています。

(今後の方針)

引き続き、生涯学習推進委員会との協働による魅力ある土日夜間講座の企画開催、ホームページ掲載内容の充実など種々の方策を通じて、所期の取組事項の達成に努めます。

○(取組方針) スポーツ施設の充実

(取組結果及びその評価)

平成 20 年度から指定管理制度を導入している鎌倉体育館、大船体育館、鎌倉武道館及び見田記念体育館の4施設について、指定管理者である鎌倉MMT共同事業体による円滑な管理運営が遂行されるよう適切なモニタリング、指導及び協議を行いました。

また、平成 21 年 7 月に見田記念体育館の体育室に冷暖房設備、平成 22 年 3 月に体育室及び多目的室に鏡を設置し、利用者サービスの向上を図りました。

(今後の方針)

今後も鎌倉体育館、大船体育館、鎌倉武道館及び見田記念体育館の4施設について、指定管理者である鎌倉MMT共同事業体による円滑な管理運営が遂行されるよう適切にモニタリングを行ない、適宜指導及び協議を行っていきます。指定管理制度を導入したスポーツ施設について、円滑な管理運営が遂行されるよう適切にモニタリングを行っていきます。

○(取組方針) 子ども読書活動の推進に向けた事業等の実施

平成 21 年度当初から「かまくら読書活動支援センター」を開設し、おはなし会の開催要望を受け訪問サービス件数が増加した。また、同じく支援センターで要望を受けた中で、子ども向け本の配布も行った。

鎌倉市子ども読書活動推進連絡会も 5 月に設置、11 月には、「第 2 回鎌倉市読書活動推進連絡会」を開催し、今後の活動のためのアンケート調査について検討した。

さらに、本年度初めて、今まで希望の多かった 0・1 歳向けのおはなし会を春と秋に実施しとても好評を得た。

そのほか、9 月におはなしボランティア・地域文庫・学校関係者などを対象に交流会を開催、10 月に幼稚園との連携の手始めとして訪問サービスを実施、図書館のホームページに「こどもページ」「YAの部屋」を作った。また10月と1月には小・中学校図書館部会に出

席して連携を深め、高等学校の図書委員の参加でおすすめ本のパネル作製なども行った。

(今後の方針)

現在は、調べ学習に必要なテーマに関連した本を集め、学校に貸出する「学習パックサービス」を実施するための本の選定作業を進めている。サービス拡大のための広報活動に力を入れるとともに、今年度発足した「鎌倉市子ども読書活動推進連絡会」を中心に子ども読書活動推進計画事業を進めていく。

○(取組方針) (仮称)鎌倉博物館の整備

(取組結果及びその評価)

(仮称)鎌倉博物館の整備に向け、具体的な取組みを進めるため(仮称)鎌倉博物館展示等整備計画を策定し、市のホームページに公表して周知を図るとともに、教育委員会、社会教育委員会議及び市議会総務・文教常任委員会に報告しました。

(仮称)鎌倉博物館については、これまで、総合計画のリーディングプロジェクトとして位置付けられ、野村総合研究所跡地において美術館との複合施設として整備するものとして事業推進してきましたが、本市の厳しい財政状況の中、限られた財源を効率的に配分する上では、その優先順位を見直し、さらに、その規模・機能・事業費の縮小や段階的整備への変更、あるいは、事業実施時期の延伸を検討せざるを得なくなりました。

これまでの市民・関係者による検討経過を踏まえ、(仮称)鎌倉博物館の整備のあり方を「野村総合研究所跡地整備にかかる今後の基本方針」として決めました。

(今後の方針)

博物館の持ついくつかの機能のうち、当面は出土遺物を、整理・保管・調査研究する機能を先行的に整備し、その機能を「埋蔵文化財センター」として位置付け、展示機能を含めた鎌倉博物館としての整備は、第3期基本計画において検討を進めます。

また、中期実施計画事業に、発掘調査・研究体制の整備を位置付けていますが、現在の市内発掘調査業務の担い手として、同時に生物科学研究所新館に整備する「埋蔵文化財センター」運営の担い手として、財団法人を設立し、発掘調査体制の整備・強化、出土遺物の整理・分類・管理・調査研究の体制を推進します。

○(取組方針) 史跡永福寺跡環境整備事業

(取組結果及びその評価)

史跡永福寺跡整備委員会からの指摘を受け実施設計の修正を行うとともに、現地の地盤形状をより正確に把握するため、水準測量等を行って事業計画の精度を高めました。

そして、その内容を整備委員会に報告し、承認が得られたことから整備工事の実施に向けて、委任先の担当課と協議を行いました。

また、来年度以降、平成25年度までの整備方針、内容について、文化庁及び県と協議した上で、整備委員会に報告し、承認を得ました。

今年度の整備工事は、3月24日までの工期で実施しました

(今後の方針)

平成25年度の仮オープンを目指し、着実な事業の推進に努めます。